



益城町地域福祉基金事業 による支援で

みんなの笑顔のため

元気に

活動

してま〜す!

町では、益城町地域福祉基金を設置し、その運用から生じる収益を基に、ボランティア活動の促進、高齢者の保健福祉の増進、在宅福祉の向上や健康づくりなどを目的に、民間団体や住民組織が行う創意工夫をこらした自主的な活動の支援を行い、地域福祉の増進に取り組んでいます。

今月号から、同基金を活用して行われているいくつかの活動を数回に分けて紹介します。

今回は、町社会福祉協議会（以下、「社協」と言います。）が行っている3つの事業について掲載します。

基金とは

特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために、自治体が条例の定めに基づいて設置した資金または財産を言います。任意に設置できますが、特定の目的が必要とされています。

ふれあい交流会

「ふれあい交流会」は、町内に住む1人暮らしの65歳以上の人（プレハブ仮設住宅やみなし仮設住宅に住む人も含む）を対象に、年2回（春・秋）2校区ずつ3日間に分けて開催されています。

皆さんに外出する機会をつくり、交流会を通して楽しい1日を過ごしていただくなど、仲間づくりをきっかけに、地域サロン等の町内イベントにも参加しながら、いきいきと生活していただくことが目的です。

参加者は、民生委員児童委員や社協職員の劇、ボランティアの演芸、温泉やカラオケ、踊り、久しぶりに会う友人とおしゃべりなど楽しい時間を過ごしています。

交流会は、健康づくり推進課や民生委員児童委員、ボランティアなど多くの人の協力で開催され、平成30年は、3日間で200人を超える人の参加があり、「楽しかった」、「社協職員の劇を楽しみにしていた」などの声が聞かれました。



(上)多彩な催しが披露される交流会のようす
(左)楽しい演芸に笑顔があふれる会場